

2025 年 8 月 27 日

各 位

会 社 名 テクロ株式会社
(コード番号 306A Fukuoka PRO Market)
代表者名 代表取締役 天野 央登
問合せ先 経理部長 平井 裕
TEL 050-7103-9638
URL <https://techro.co.jp/>

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2024 年 12 月 16 日に公表いたしました 2025 年 6 月期（2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日）の通期業績予想を下記のとおり、修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正（2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 144	百万円 △0	百万円 0	百万円 0	円 銭 0.08
今 回 修 正 予 想 (B)	130	△14	△12	△9	△9.35
増 減 額 (B ー A)	△14	△14	△12	△9	
増 減 率 (%)	△9.7	—	—	—	
(参考) 前期実績 (2024 年 6 月期)	126	△8	△6	△6	△6.57

2. 業績予想修正の理由

下期では営業黒字が確保できたものの、想定通りに上期の営業赤字を取り戻すことができず、通期業績予想の修正をする判断に至りました。計画未達の要因は以下のように考えられます。

- ・ 集客目標の未達
自社セミナーや展示会において、集客数が計画を下回り、有効商談数および成約数に影響しました。
- ・ 契約更新数の未達
当初計画していた営業体制の構築が想定よりも遅れたことにより、当初の想定よりも契約更新数が伸び悩みました。
- ・ 上場コスト
上場に伴う一過性のコスト 14 百万円を賄うことができず、同額の営業損失を計上するに至りました。

これらの複合的な要因により、前回発表予想より営業損益は 14 百万円減の営業損失 14 百万円、経常損益は 12 百万円減の経常損失 12 百万円、当期純損益は 9 百万円減の当期純損失 9 百万円となる見通しです。

3. 今後の見通し

今回の業績予想の修正を厳粛に受け止め、早急に業績回復に向けた対策を講じてまいります。具体的には、以下の取り組みを推進しております。

- ・ 集客強化
現在は顧客対応プロセスの改善を進めており、有効商談数・成約率は着実に改善傾向にあります。今後は、デジタル施策を含めた集客チャネルの多様化を進め、安定的なリード獲得を図ってまいります。
- ・ 契約更新率の改善
KPI の見直しやサポート体制の強化を実施し、既存顧客との関係維持・拡大に注力しています。すでに一部顧客で継続率の改善が見られており、来期以降の収益安定化につながると見込んでおります。
- ・ 上場コスト
前述の費用は今期限りのものであり、来期以降の収益には影響しない見通しです。

以上